

作成日		発行
2018.06.01 No.275		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

# Father's Day

梅雨入りが発表された地域もあり、日よっての気候の変化が著しい今日この頃ですが、体調など崩されてはいませんか？

5月の母の日に次いで、6月には「父の日」があります。「父の日」は、アメリカワシントン州に住むジョン・ブルース・ドット婦人の提唱によるものだそうです。彼女の父ウィリアム・ジャクソン・スマートは妻に先立たれ、ドット婦人を含む6人兄弟を男手一つで育て上げたそうです。そんな父に育てられた彼女は「母の日」の存在を知り、父に感謝する日も必要であると1909年6月19日（第三日曜日）に制定すると提唱したとされています。その後、この行事は各地へ広まり、1916年にはアメリカ全土で行われるようになりました。アメリカで正式に祝日となったのは1972年の事だそうです。健在の父には赤いバラを、亡くなった父には白いバラを贈る風習があるようです。一方日本では1950年頃から広まり始め、一般的な行事になったのは1980年代のようです。ファーザーズ・デー委員会という団体の「父の日黄色いリボンキャンペーン」が、幸福や希望の象徴である「黄色」をイメージカラーしていますが、花は特に制定されていない事から、日本ではバラ以外にも子の愛という花言葉を持つユリなどが贈られるそうです。当社にもバラやユリモチーフの商品がございますので、是非この機会に感謝の気持ちを添えて、プレゼントを贈ってみてはいかがでしょうか。(Y.M)



## 紫陽花

初夏を彩る代表的な花として人気があるのが紫陽花です。紫陽花は土壌の性質や、咲いてから散るまでの日数で、花の色を変えることから「七変化」「八仙花」などの別名もあります。そんな紫陽花の代表的な花言葉は「辛抱強い愛」、「移り気」です。以前は浮気をイメージさせる花言葉から、結婚式や贈り物では避けられる花でした。しかし最近では、「家族団欒」という花言葉も広まり、母の日の贈り物や結婚式のブーケなどにもよく使われます。

咲き始めは葉の色に近いクリーム色ですが、日数とともに、水色→青→青紫→赤紫(ピンク)と花の色が変わります。100種類以上の種類や品種があり、様々な形の紫陽花を楽しむことができます。

県内だと6月下旬から、名勝猿橋あじさい祭りが開催されます。猿橋と近隣公園が歩道橋でつながっていて、歩道橋の両側に約3000株の紫陽花が咲きます。色んな色や形で楽しめる紫陽花。皆さんも楽しんでみてはいかがでしょうか。(A.G)



## 夏越の祓

夏越の祓とは、6月30日に行う禊の行事で、神社の境内につくられた茅の輪や形代などで罪や穢れを祓う大祓の事です。

今年前半の穢れを祓って無事に過ごせたことに感謝し、後半も元気に過ごせるよう、健康と厄除けを祈願する行事です。12月末には同様に、健康や厄除けを祈願して「年越しの祓」が行われます。

厄落としの方法として「茅の輪くぐり」が行われます。チガヤという草で大きな輪を作り、茅の輪をくぐることで、病気や災いを免れることができるとされています。

他にも、形代流しで祓を行うところもあります。紙で作った形代(人形)に姓名・年齢を書いて、これで体を撫で、自分の穢れをこの形代に移して川などに流します。

全国の神社で行われるようなので、今年の後半も健康に元気に過ごせるように、私も足を運んでみたいと思います。(A.G)

